

応用言語学研究所 博士前期課程 教育課程表／教職課程表

科目区分	授業科目	単位数		必・選	配当年次		開講	備考	特別プログラム		教職課程 【中学校・高等学校 専修免許状】							
		講義	演習		1	2			日本語教育	英語教育	国語		英語		中国語			
											大学が独自に設定する科目		大学が独自に設定する科目		大学が独自に設定する科目			
											教科及び教科の指導法	教育実践	教科及び教科の指導法	教育実践	教科及び教科の指導法	教育実践		
基 礎 門	応用言語学研究法特論	2		選	○		●	後学期開講										
	応用言語学特論	4		選	○	○	●						◎					
言 語 教 育 コ ー ス	日本語教育方法特論	4		選	○	○	●		◎		◎							
	日本語教育教材特論	4		選	○	○	●		◎		◎							
	日本語教育学特論	4		選	○	○	●		◎		◎							
	英語教育方法特論	4		選	○	○	—	隔年開講		◎		◎						
	英語教育教材特論	4		選	○	○	●	隔年開講		◎		◎						
	英語教育がひらく開発特論	4		選	○	○	—	隔年開講		◎		◎						
	中国語教育方法特論	4		選	○	○	●									◎		
	中国語教育教材特論	4		選	○	○	—	隔年開講								◎		
	言語教育評価特論	4		選	○	○	●					◎		◎				◎
	言語教育統計学特論	4		選	○	○	●											
言 語 理 論 コ ー ス	一般言語学特論	4		選	○	○	●	隔年開講				◎						
	理論言語学特論	4		選	○	○	●					◎						
	音声学・音韻論特論	4		選	○	○	●											
	異文化コミュニケーション特論	4		選	○	○	●	隔年開講					◎					
	第2言語習得特論	4		選	○	○	●	隔年開講					◎					
	言語心理学特論	4		選	○	○	—						◎					
	社会言語学特論	4		選	○	○	—	隔年開講										
	対照研究特論	4		選	○	○	●					◎						
	日本語学特論	4		選	○	○	●					◎						
	現代英文法特論	4		選	○	○	●						◎					
	現代中国語文法特論	4		選	○	○	—									◎		
	コンピューター言語学特論	4		選	○	○	●					◎						
	意味論特論	4		選	○	○	—											
言 語 文 化 コ ー ス	日・英比較文学特論	4		選	○	○	●					◎						
	日・中比較文学特論	4		選	○	○	—	隔年開講								◎		
	中国古代思想特論	4		選	○	○	—	隔年開講				◎						
	中国中世文化特論	4		選	○	○	●	隔年開講								◎		
	中国古典文学特論	4		選	○	○	●									◎		
	中国現代文学特論	4		選	○	○	●	隔年開講								◎		
	通訳理論特論	4		選	○	○	●	隔年開講										
翻訳技法特論	4		選	○	○	—	隔年開講											
演 習	特別演習Ⅰ		4	必	○		●											
	特別演習Ⅱ		4	必	○		●											
修了所要単位									プログラム修了要件		教員免許状所要資格等							
主履修コース科目から12単位以上、副履修コース科目から8単位以上選択し、全体で24単位以上を選択履修する。特別演習8単位必修、総計32単位以上を履修する。									◎を付した科目12単位以上を修得し、かつ課程修了要件を満たす。ただし、学位論文は各プログラムに係る内容でなければならない。		1 取得しようとする免許状と同一教科の一種免許状取得所要資格を有する。 2 修士の学位を有する。 3 ◎を付した教科及び教科の指導法又は教育実践に関する科目から24単位以上修得する。							

注意 開講欄に「—」を付している科目は、本年度開講されません。(●は開講)

注意 上位年次配当科目は履修できません。

注意 学位に付記する専攻分野の取扱いについては『大学院教育要覧』を参照してください。